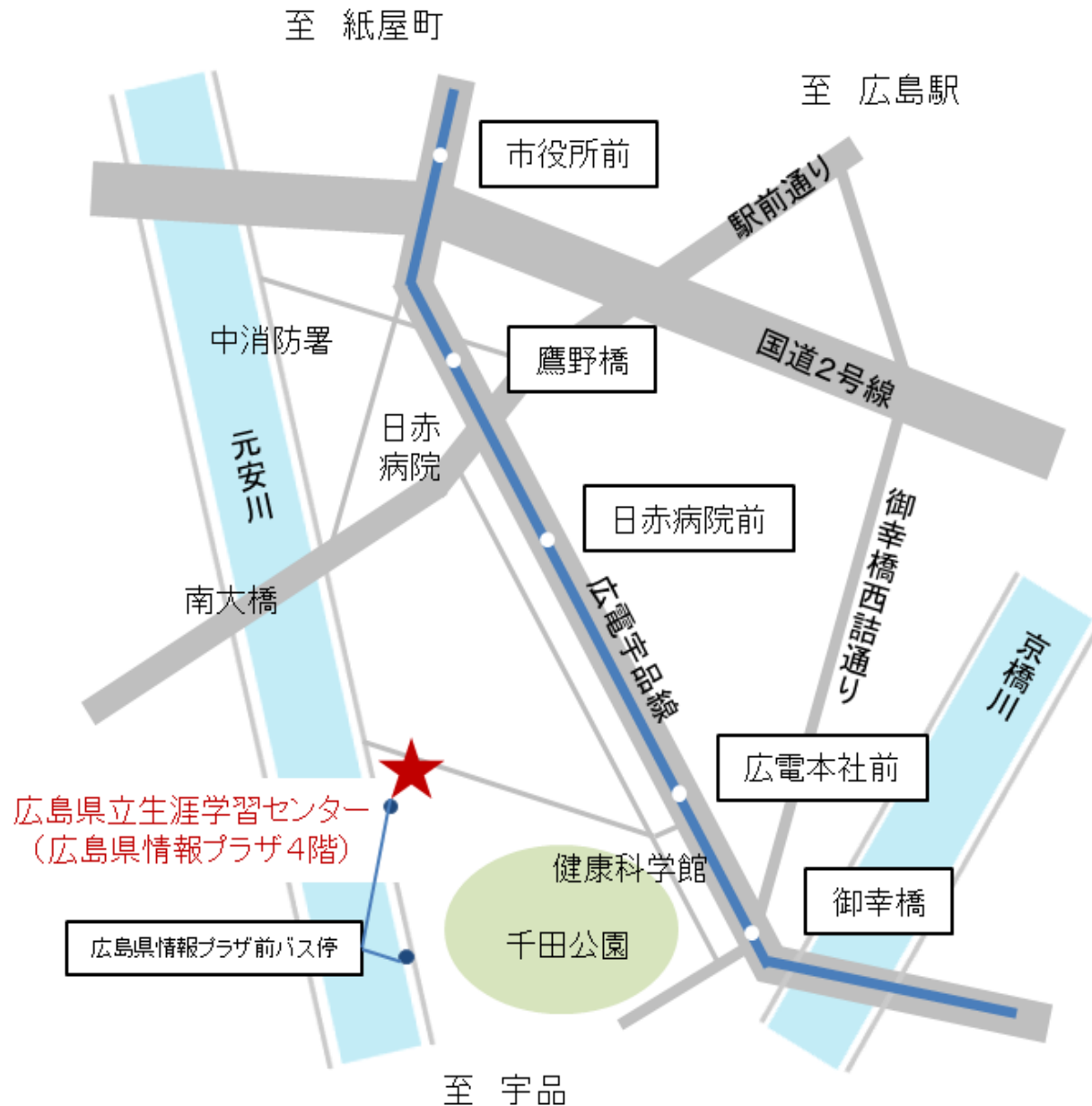
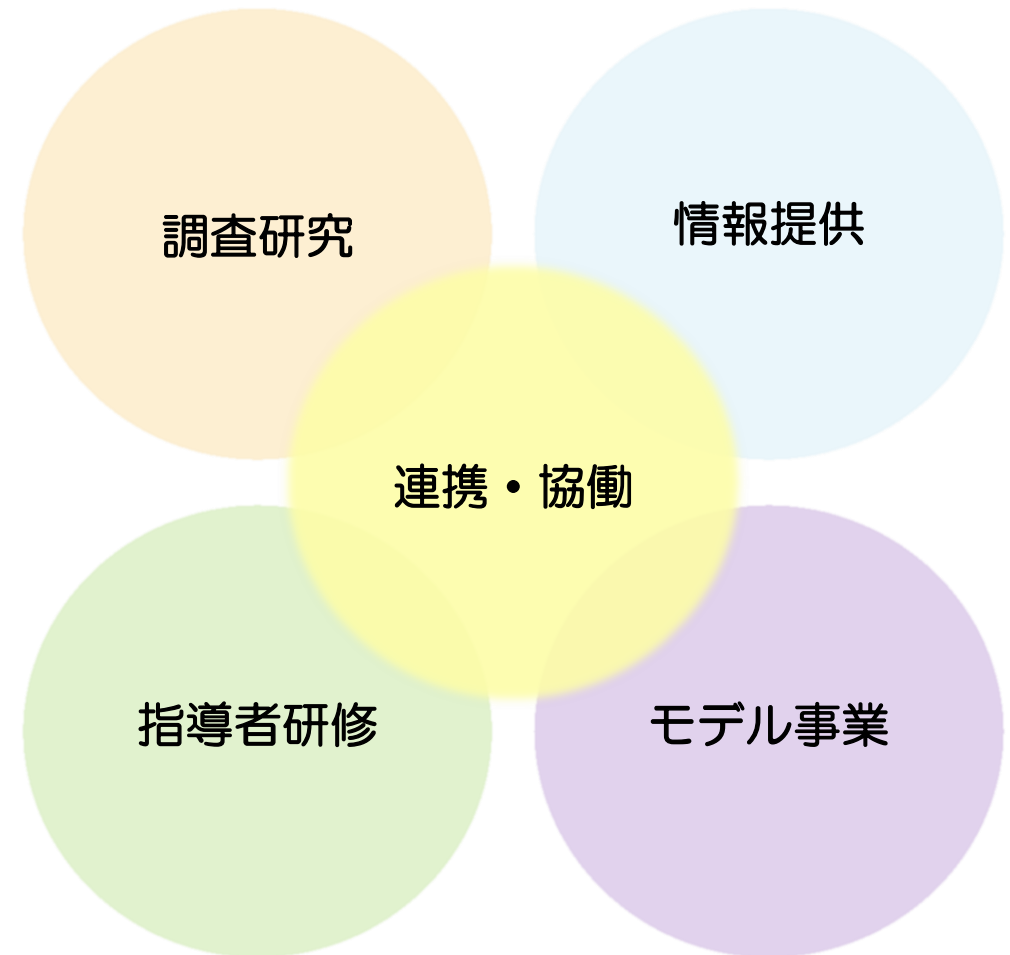


広島県立生涯学習センター

機能と事業の御案内



- 路線バス
広島バス 21-2号線(宇品線)広島港・プリンスホテル行(ベイシティ経由)
「広島県情報プラザ前」下車 徒歩1分
- 路面電車
広島港(宇品)行(紙屋町経由)「広電本社前」下車 徒歩8分

※駐車場は、広島県情報プラザ内の有料駐車場をご利用ください。
(30分以内無料, 以後30分ごとに150円)

広島県立生涯学習センター

〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47
TEL:082-248-8848 FAX:082-248-8840
MAIL: sgcshinkou@pref.hiroshima.lg.jp
H P: <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/center/>

広島県立生涯学習センター機能と事業

活力ある人づくりと人を活かす社会づくりをめざして、県民の生涯学習活動を支援します。

調査研究

- 生涯学習支援方策調査研究
- ボランティア育成支援方策研究開発

連携・協働

- 社会教育関係団体との連携・協働
- 高等教育機関との連携・協働
- 広島県立図書館との連携・協働
- 社会教育士ネットワーク

情報提供

- WEBサイト運営・メルマガ配信
- 研修コンテンツ等開発

指導者研修

- 指導者研修
- 生涯学習振興・社会教育行政関係職員等研修
 - ・基礎研修
 - ・学習プログラム研修
 - ・社会教育主事等研修
(兼社会教育士フォローアップ研修)
 - ・地域づくりのための学習プロジェクト立案研修
 - ・地域課題対応研修支援(訪問型研修)
- 公民館等職員研修
- ボランティア・コーディネーター等研修
- コミュニティ・スクール/地域学校協働活動推進事業に係る研修
- 家庭教育支援事業に係る研修
- 専門職員等養成(資格取得)
社会教育主事講習[B]

モデル事業

- 広島版「学びから始まる地域づくりプロジェクト」支援事業
- 家庭教育支援事業
「親の力」をまなびあう学習プログラム
- 地域学校協働活動推進事業
大学生ボランティアチーム
「ワクワク学び隊」派遣

広島県生涯学習研究実践交流会 (日本生涯教育学会との共催)

生涯学習・社会教育関係者が一堂に会して研究や実践、交流し、連携・協働のプラットフォームとして、広範なネットワークづくりを進めます。

令和7年度生涯学習センター実施予定の研修等一覧

令和7年4月11日現在

資料1-2

1 希望研修

受講対象

ア 市町の生涯学習振興・社会教育行政関係職員

例：担当課職員、社会教育主事、生涯学習センター職員、公民館・公民館類似施設（コミュニティセンター等）職員等

イ 首長部局等で、地域づくりや地域課題に関する啓発事業・講座等の企画運営を担当している方

例：地域リーダーの育成を担当する地域政策課職員、子育て・高齢者支援等の講座を担当する福祉課職員、社会教育士、地域おこし協力隊員等

	実施日時	研修名	趣 旨 等	実施方法 又は会場	講 師 等	備 考
①	5月15日(木) 10:30～16:00	基礎研修 —初めての方も、繰り返し学ぶ方も、 共に学ぶ職務の基礎—	生涯学習振興・社会教育行政関係職員にとって、職務上必要な基礎的な知識の習得を図ります。 【向上させたい能力】 ○ 生涯学習・社会教育に関する基礎的な事項を理解することができる。 ○ これからの生涯学習振興・社会教育行政関係職員に求められる役割を理解することができる。 ○ 多様な主体と連携・協働しながら、業務を推進していく方法、視点等を理解することができる。	対面・オンライン の同時開催 西部会場 広島県情報プラザ 東部会場 広島県福山庁舎	大分大学 教育マネジメント機構 基盤教育センター 教授 岡田 正彦 ※実践発表あり	初めて生涯学習振興・社会教育行政関係の職務に就かれた方、もう一度基本から学びたい方におすすめです。
②	5月29日(木) 13:30～16:30	学習プログラム研修 —学習プログラムの企画・ 立案・評価能力の向上—	事業や講座を実施する職員に対し、職務上必要な学習プログラムの企画・立案・評価に関する能力の向上を図ります。 【向上させたい能力】 ○ 「個人の要望」と「社会の要請」のバランスがとれた学習プログラムを企画・立案することができる。 ○ 学習プログラムを評価することができる。 ○ 多様な主体と連携・協働しながら、業務を推進していくことができる。	オンライン	大分大学 教育マネジメント機構 基盤教育センター 教授 岡田 正彦	公民館等で日常的に講座や事業の企画運営を担当されている方におすすめです。
	6月11日(木) 10:00～15:30			対面・オンライン の同時開催	生涯学習センター職員	
	7月3日(木) 13:30～16:30			西部会場 広島県情報プラザ 東部会場 広島県福山庁舎	大分大学 教育マネジメント機構 基盤教育センター 教授 岡田 正彦	

③	6月19日(木) 13:30～16:30	社会教育主事等研修 (兼 社会教育士 フォローアップ研修) —深める知識・技能、 広げるネットワーク—	第1回	県内市町の生涯学習振興・社会教育行政関係職員等に対し、職務等に対応した研修を実施し、職員としての専門的な知識・技能、資質の向上を図ります。また、社会教育士等を対象としたフォローアップ研修として位置づけ、地域の社会教育人材がそれぞれの専門性と相互のつながりを活かして活躍することができるよう、社会教育人材ネットワークの構築・活性化を図ります。 【向上させたい能力】 ○ 最新の施策動向や先駆的取組に関する新たな知識を得ることができる。 ○ 多様な主体と連携・協働を図りながら、学習成果を地域課題解決等につなげていく能力を高めることができる。 ○ 学習者の主体的な学びや地域社会への参画を促し、多様な特性に応じて学習を支援する能力を高めることができる。	対面・オンライン の同時開催 広島県情報プラザ	岡山理科大学 グローバルセンター 講師 木村 光宏	社会教育士・社会教育主事・社会教育行政関係の職務に就かれている方におすすめです。
	7月11日(金) 13:30～16:30		第2回				
④	7月31日(木) 9:30～16:30	地域づくりのための 学習プロジェクト立案研修 (広島版「学びから始まる 地域づくりプロジェクト」 支援事業) —学びを通じた地域づくりのための コーディネート力の向上—		地域住民にとって最も身近な学習・交流の活動拠点である公民館等が、多様な主体と連携・協働して地域課題に対応した学習機会・支援を提供し、学びを通じた地域づくりを促進するための拠点として重要な役割を果たせるよう、地域住民の主体的な学びを通じた地域課題解決・まちづくりの推進のための施策・事業を実践し、コーディネートできる人材の育成を図ります。 【向上させたい能力】 ○ 学びから始まる地域づくりに関わる新しい知識や考え方を得ることができる。 ○ 地域の未来を考えながら、地域の現状や課題、資源を分析し、プロジェクト案を作成することができる。 ○ プロジェクト案を交流し、評価のポイントに基づいた点検や助言ができる。	対面・オンライン の同時開催 西部会場 広島市 (調整中) 東部会場 福山尾道方面 (調整中)	広島県立生涯学習センター 生涯学習推進マネージャー 広島修道大学人文学部 学部長・教授 山川 肖美	地域の実情を踏まえ、複数年にわたるプロジェクトを企画・立案し、地域づくりにつなげていきたい方におすすめです。
⑤	12月上旬 (調整中)	公民館等職員研修 (共催：広島県公民館連合会)		人や情報のコーディネート、地域づくり・まちづくりの推進、事業の企画・立案などの取組の中心的な役割を担う公民館等職員の専門性の向上を図ります。 【テーマ】地域コミュニティの基盤を支える社会教育の推進	対面 西部会場 熊野町 東部会場 福山市	(調整中)	
⑥	6月5日(木) 12:15～16:00	社会教育委員研修 (主催：広島県社会教育委員 連絡協議会)		広島県の社会教育の振興充実に向けて、広島県内の社会教育委員が一堂に会し、研修の場を共有することによって、相互の連携を深めます。 【テーマ】地域や家庭で共に学び支えあう社会の実現に向けた教育の推進 ～これからの社会教育委員に期待すること～	対面 三原市本郷 生涯学習センター	岡山県立大学 保健福祉学部現代福祉学科 教授 近藤 理恵	

2 ボランティア・コーディネーター研修

◆ 家庭教育支援関係

受講対象

ア 家庭教育支援ボランティア

イ 市町の家庭教育支援担当職員等

	実施日時	研修名	趣 旨 等	実施方法 又は会場	講 師 等	備 考
①	9月中旬 (調整中)	アウトリーチ型家庭教育支援研修 —大人も子供も共に成長する 居場所づくり—	家庭教育支援に係る活動についての実践報告や情報交流を通じて、家庭教育支援に関する知識を深めるとともに、受講者間での意見交流を通じて活動への意欲をさらに高めます。	対面・オンライン の同時開催	(調整中)	
②	12月中旬 (調整中)	親プロファシリテーター ステップアップ研修 —実践交流会& ネットワーク構築会—	市町で活躍しているファシリテーターの実践発表や演習を通して、ファシリテーターとしての能力向上を図ると共に、県内の親プロファシリテーター等家庭教育支援ボランティアの活動の促進とネットワークづくりを行います。	対面・オンライン の同時開催	(調整中)	

◆ コミュニティ・スクール／地域学校協働活動 関係

受講対象

ア 学校運営協議会委員、市町教育委員会又は校長が推薦する者、地域学校協働活動推進員

イ 教職員（小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校）

ウ コミュニティ・スクール又は社会教育行政関係職員

	実施日時	研修名	趣 旨 等	実施方法 又は会場	講 師 等	備 考
①	6月26日(木) 13:00～16:30	地域学校協働活動 コーディネーター 養成講座 (兼)理解促進研修 (第1回のみ)	社会に開かれた教育課程の実現に向けてコミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に進めていくことについて理解するとともに、「地域とともにある学校づくり」と「学校とともにある地域づくり」を効果的に進めていくためのコーディネーターとしての資質・能力の向上を図ります。	対面・オンライン 西部会場 広島市まちづくり市民 交流プラザ 東部会場 広島県尾道庁舎 北部会場 広島県三次庁舎 芸北会場 北広島町まちづくり センター 会場をオンラインで 繋ぎます	国立教育政策研究所 総括研究官 志々田まなみ	学校と地域が協働するために、実働するコーディネートとして必要な知識・スキルの習得を図ります。
	8月26日(火) 13:00～16:30	—地域と学校をつなぐ要となるコーディネーターの養成—			一般社団法人 まなびのみなと 円光 歩	
	10月9日(木) 13:00～16:30				文部科学省CSマイスター 竹原 和泉	

②	12 月 (調整中)	コミュニティ・スクールと 地域学校協働活動の一体的推進 連絡交流会	コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進について、地 域・学校・行政関係者の理解促進及び県内市町担当課のネットワーク化を図 り、今後の取組の充実につなげます。	オンライン	(調整中)	
③	1 月 (調整中)	「地域とともにある学校づくり 学校を核とした地域づくり」 フォーラム	他の校種、地域で行われている様々な事例をもとに、自地域での今後の取 組について考えます。	オンライン	(調整中)	

3 専門職員養成研修

受講対象

社会教育主事講習等規程（昭和 26 年文部省令第 12 号）第 2 条各号のいずれかに該当する者

	実施日時	研修名	趣 旨 等	実施方法 又は会場	講 師 等	備 考
①	1 月 16 日(金) ～2 月 10 日 (火)	社会教育主事講習 〔B〕(広島会場) (主催：国立教育 政策研究所社会教 育実践研究センタ ー)	社会教育法（昭和24年法律第207号）第 9 条の 5 の規定及び社会教育主事 講習等規程に基づき、文部科学大臣から委嘱を受け、社会教育主事となり うる資格を付与すること、及び社会教育に携わる専門的職員等の資質の向 上を目的とした講習です。【分割履修可能】	オンデマンド 及びオンライン		
	2 月 12 日(木) 13 日(金) 2 月 16 日(月) ～2 月 20 日(金)			対面 広島県情報プラザ	生涯学習センター職員	

※ 広島大学主催の社会教育主事講習については、広島大学へ直接お問い合わせください。

4 サテライト研修

受講対象

ア 市町の生涯学習振興・社会教育行政関係職員

例：担当課職員、社会教育主事、生涯学習センター職員、公民館・公民館類似施設（コミュニティセンター等）職員等

イ 首長部局等で、地域づくりや地域課題に関する啓発事業・講座等の企画運営を担当している方

例：地域リーダーの育成を担当する地域政策課職員、子育て・高齢者支援等の講座を担当する福祉課職員、社会教育士、地域おこし協力隊員等

ウ 社会教育委員

エ 地域ボランティア・コーディネーター、社会教育士、親プロファシリテーター

オ 学校運営協議会委員、地域学校協働活動コーディネーター

	実施日時	研修名	趣 旨 等	実施方法 又は会場	講 師 等	備 考
①	随時	地域課題対応研修支援 (訪問型研修) ―市町のニーズに合わせた 研修支援―	複雑化・多様化する社会や地域の課題に対応した事業の充実に向けて、市町の自律的な取組につながるよう、市町が実施する研修（人材育成）の企画・運営を総合的に支援します。 (研修メニュー例) ・「生涯学習・社会教育」の基本事項 ・参加型学習の実際とファシリテーションの基礎 ・社会教育委員の役割 ・アウトリーチ型家庭教育支援 ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進 等	対面・オンライン 希望市町	生涯学習センター職員 等	

5 広域な研修会等

参加対象

ひとづくり・つながりづくり・地域づくりを支える社会教育人材のみなさん（興味・関心のある方はどなたでも参加できます。）

（例：行政関係、学校・大学関係、社会教育関係、家庭教育関係、活動団体・グループ等、学生等、その他）

	実施日時	研修名	趣 旨 等	実施方法 又は会場	講 師 等	備 考
①	3月7日（土） （調整中）	第14回 広島県生涯学習研究実践交流会 ―ひろしま発！つながり・つなぎ・ひろげよう！― (主催：日本生涯教育学会（瀬戸内支部・生涯学習実践研究所広島支部）)	生涯学習・社会教育関係者が一堂に会して研究や実践を交流することで、生涯学習・社会教育を推進する上での資質を高めるとともに、連携・協働のプラットフォーム（幅広い機関・組織・団体等の乗り入れの場）として、生涯学習・社会教育関係者の広範なネットワークづくりを進めます。	広島県情報プラザ	(調整中)	ひとづくり・つながりづくり・地域づくりを支える社会教育人材のみなさんは、どなたでも参加できます。

※ 日程、内容、会場等は変更する場合があります。通知により確認してください。

是非、御参加ください！

昨年度は、県内の関係職員延べ **198名** が参加されました！

1 仕事に**すぐに役立つ**内容を
1~3 日間に凝縮して習得可能！

2 課題解決につながる
実践交流・参加型！

3 市町間や他部局に
広がるネットワーク！

こんな
悩みや御要望は
ありませんか？

生涯学習や社会教育に関する**基本的な知識・技術**や最新の動向を学びたい。

地域課題の解決に結びつく**事業を立案・評価**できる力を身に付けたい。

他市町や他機関・他部署の職員との**ネットワーク**を築きたい。

研修成果の活用

研修で学んだことを活用して
実際の業務に取り組みました。

〈受講者アンケートより〉

- ・個人の要望や社会の要請の双方に
応えることができるようにするため、
これまで以上に地域の方と積極的に
関わるようになった。
- ・目まぐるしく変化する時代に、地域
により適した生涯学習、社会教育を
考えるためには、先駆的な取り組み
などの情報は常に意識していきたい。



県内市町の生涯学習振興・社会教育行政関係職員等に対し、職務等に対応した研修を実施し、職員としての専門的な知識・技能、資質の向上を図ります。

御希望の研修プログラムを選択してください。

基礎研修

初めての方も、繰り返し学ぶ方も、
共に学ぶ職務の基礎

5/15 (木) 対面・オンラインの同時開催

学習プログラム研修 [全3回]

現代社会や住民のニーズを捉えた
楽しく学べるプログラムの立案

① 5/29 (木)
② 6/11 (水)
③ 7/3 (木) } 対面・オンラインの同時開催

社会教育主事等研修 (兼 社会教育士フォローアップ研修)

深める知識・技能
広げるネットワーク

① 6/19 (木)
② 7/11 (金) } 対面・オンラインの同時開催

地域づくりのための 学習プロジェクト立案研修

学びを通じた地域づくりのための
コーディネート力の向上

7/31 (木) 対面・オンラインの同時開催

対
象

- ◆ 市町の生涯学習振興・社会教育行政関係職員
例) 担当課職員、社会教育主事、生涯学習センター職員、公民館・公民館類似施設(コミュニティセンター等)職員等
- ◆ 首長部局等で、地域づくりや地域課題に関する啓発事業・講座等の企画運営を担当している方
例) 地域リーダーの育成を担当する地域政策課職員、子育て・高齢者支援等の講座を担当する福祉課職員、社会教育士、地域おこし協力隊員等

お問い合わせ

詳しい内容や参加申込等については、実施要項にて御案内します。

広島県立生涯学習センター

TEL: 082-248-8848 MAIL: sgcsshinkou@pref.hiroshima.lg.jp
HP: <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/center/>

ぱれっとひろしま

検索

令和七年度
生涯学習振興・社会教育行政関係職員等研修

地域づくりなどに関わる首長部局等の方の御参加も大歓迎！

基礎研修



生涯学習・社会教育の基礎的な知識の習得

生涯学習・社会教育の基本事項、関係法令、国・県の動向、現場からの報告（やりがいと楽しさ）、関係職員の役割等

こんな方に
おすすめ！

初めて社会教育行政等を担当する方、もう一度基本から学びたい方

これからプログラムを考えると、研修で学んだこと（一人で悩まない、波及効果、バードビュー）を思い出しながら取り組んでいきたいと思います。



学習プログラム 研修



学習プログラムの企画・立案・評価能力の向上

地域課題の把握、学習プログラムの作成・評価・改善等

こんな方に
おすすめ！

事業・講座の企画運営を行っている公民館等職員、地域づくりに関する講座の企画運営を行う職員等

個人の要望や社会の要請のバランスを踏まえつつ、事業の継続性を考えたり参加者の興味の引き方を意識したりできるようになりました。



社会教育主事等研修 (兼 社会教育士 フォローアップ研修)



専門的教育職員としての知識・技能の向上

社会教育行政の経営戦略、社会教育を推進する地域ネットワークの形成、参加型学習の実践とファシリテーション等

こんな方に
おすすめ！

社会教育士、社会教育主事、同有資格者、社会教育行政等の中核となる職員等

主体的になってもらうのがゴールではなく、あくまでその人たちの学びや居場所がどうなりたいのかを一緒に話すプロセスが重要だと思いました。



地域づくりのための 学習プロジェクト 立案研修



学びを通じた地域づくりのためのコーディネート力の向上

講義「学びから始まる地域づくり」、説明「「ひろプロ」の概要」、「ひろプロ」企画シートの作成等

こんな方に
おすすめ！

事業・講座の企画運営を行っている公民館等職員、地域づくりに関する講座の企画運営を行う職員、社会教育主事（同有資格者）等

地域の人たちが自分たちの「理想」をワクワク、ドキドキしながら語り合える環境を整えていきたいと思っています。



研修企画や人材育成の悩み を抱えていませんか？

資料2-1

令和7年度生涯学習振興・社会教育行政関係職員等研修

(訪問型研修)

地域課題対応 研修支援

～市町のニーズに合わせた研修支援！
訪問型研修～

広島県立生涯学習センターの社会教育主事等が訪問し、**多様化する地域課題に
対応した事業実施に係る市町の研修（人材育成）※**を総合的に支援します。

※市町生涯学習振興・社会教育行政関係職員、公民館等施設職員、地域づくりや啓発事業等を担当する職員、社会教育委員、地域ボランティア・コーディネーター、親プロファシリテーター、学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員、地域学校協働活動コーディネーター等を対象とした研修等



STEP 1 研修支援申込受付

「研修支援申込書」※を提出してください。

※HPからダウンロードできます。

研修を企画してみたものの、この内容でいいのかな。
誰かに相談したいなあ。



STEP 4 アフターフォロー

次回以降の改善・発展、主体的な研修
実施に向けた支援を行います。

相談相手がいるって安心です。
次は別の研修についても相談してみよう。



STEP 2 研修企画支援

各市町の要望等に応じて、研修会の
企画・構成に関する助言や情報提供を
行います。

研修計画が完成した！
当日も安心して運営できそう。



STEP 3 研修運営支援

必要に応じて、広島県立生涯学習センター
の社会教育主事等が訪問し、研修の講師・
コーディネーター等を務めます。

研修コンテンツの提供をすることもできます。

実態に合った研修内容で明日からの
業務にすぐに役立つね！

詳しい内容は、「実施要項」を御参照ください。

▼ 御連絡・御相談はこちらまで！ ▼

問合せ：広島県立生涯学習センター振興課（広島県情報プラザ4階）

電話：082-248-8848 E-mail：sgcshinkou@pref.hiroshima.lg.jp





学びから地域課題解決を導く研修づくりをしませんか？

広島県立生涯学習センターでは、各市町や各地域の課題やニーズに合った生涯学習振興・社会教育推進のための人材育成研修を、市町の担当者とともに考え、組み立てていく支援をしています。ぜひ、当センターを御活用ください。

広島県立生涯学習センター生涯学習推進マネージャー（広島修道大学教授）山川 肖美

令和6年度地域課題対応研修支援の一例

<11月12日（火）14:00～16:00> 尾道市社会教育委員研修会

◆研修のねらい

社会教育委員が、教育振興基本計画の中にもあるウェルビーイングについて学び、意見交換をすることで、相互の連携を深める。



テーマ：社会教育委員の役割

- 講義
「国・県の動向とウェルビーイングをふまえた社会教育委員の役割」
- 演習（グループワーク）
「社会教育委員としてできること～ウェルビーイングの実現を目指して」



人と人とのつながりにより、ウェルビーイングが達成できていくような気がします（参加者）



講話をふまえての協議はとても有意義でした。社会、地域とつながる子供たちの育成に尽力してまいります。（参加者）

<12月12日（木）14:00～16:00> 安芸高田市社会教育指導員研修会

◆研修のねらい

職務上必要な学習プログラムの企画・立案・評価に関する能力の向上を図る。

主催講座等の情報を交流して、今後の講座の企画・立案・評価へつなげる。



テーマ：生涯学習・社会教育」の基本事項 学習プログラムの評価とリデザイン

- 講義「生涯学習・社会教育の基本事項」
交流「事業推進の課題や悩み・改善策」
- 講義「学習プログラム作成のポイント」
演習「学習プログラムチェックシートを活用した自己評価と改善案の検討」



最近は研修に参加する機会もなかったので、他の指導員の方と意見交流できてとてもよかった。（参加者）



自分の中の小さなことから重要なことまで聞いてもらううちにアイデアが浮かんできた。（参加者）

<1月29日（水）10:30～15:00> 再犯防止×地方創生政策 ワークショップ研修（広島矯正管区）

◆研修のねらい

国と地方という所属・立場の異なる両者が一堂に会し、顔の見える関係性を構築するとともに、再犯防止や地方創生に資する取組に関してアイデアを模索・共有することで、相互の連携強化を図る。



テーマ：参加型学習の実際と ファシリテーションの基礎

- ワークショップ
「広島県の再犯防止PRを考えよう」



関係課同士の連携・協力を促す機会になった。（参加者）



異業種・他分野で集まる面白さを知った。（参加者）



もっと色々な機関・職種の方も交えて事例検討や意見交換を実施して、具体的な支援につないでいきたい。（参加者）

※研修の企画・立案、当日運営で支援を行いました。

その他、次のとおり支援実績があります。【令和6年度：13市町22件、令和5年度：7市町13件】
支援した研修の様子や研修資料の一部をHPでも紹介しています。今後の研修事業の企画・運営の参考にしてください。

ぱれっとひろしま



**令和 7 年度生涯学習振興・社会教育行政関係職員等研修
【地域課題対応研修支援（訪問型研修）】実施要項**

1 趣 旨

複雑・多様化する社会や地域の課題に対応した事業の充実に向けて、市町の自律的な取組につながるよう、市町の社会教育主事、研修担当職員等と連携・協働し、市町が実施する研修（人材育成）の企画・運営を総合的に支援する。

2 主 催

広島県教育委員会（広島県立生涯学習センター）

3 ねらい

- (1) 市町の社会教育主事、研修担当職員等の指導力・企画力・コーディネート力の向上
- (2) 市町生涯学習振興・社会教育行政関係職員等（社会教育委員、地域ボランティア・コーディネーターを含む）の資質・能力の向上

4 研修支援の対象

- (1) 市町生涯学習振興・社会教育行政関係職員等（※）
※生涯学習振興・社会教育行政担当課職員、社会教育主事・生涯学習センター職員、公民館・公民館類似施設（コミュニティセンター等）職員、地域づくりや啓発事業・講座等の企画運営を担当する職員等
（例）地域リーダーの育成やまちづくりワークショップを担当する地域政策課職員、子育て講座や高齢者対象の講座を担当する福祉課職員、地域おこし協力隊等
- (2) 社会教育委員
- (3) 地域ボランティア・コーディネーター、社会教育士、親プロファシリテーター
- (4) 学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員、地域学校協働活動コーディネーター等

5 研修支援の方法等（オンライン可）

- (1) 市町が実施する関係職員等研修の企画・運営に係る支援
 - ア 研修プログラムの企画・運営に係る事前、事後の指導・助言
 - イ 研修当日の指導・助言（講師、運営支援）
 - ウ 研修コンテンツの提供
 - エ その他、研修の企画・運営に係る必要な支援
- (2) 広島版「学びから始まる地域づくりプロジェクト」支援事業における事業の立案・実施に係る支援

6 研修支援の内容

別紙「研修支援プログラム（例）一覧」を参考に、市町が希望する支援を実施する。
なお、実施に当たっては、市町の状況に応じて、構成や内容を調整する。

7 研修支援の基本的な流れ

① 「研修支援申込書」の提出

別紙様式「研修支援申込書」に必要事項を記載し、メールで提出してください。

※「研修支援申込書」の記載内容について、電話等で詳しく聞き取りをさせていただきます。

② 研修支援の実施可否の通知

「研修支援申込書」を提出していただいた市町に対して、研修支援の実施の可否を通知します。

③ 研修企画支援

「研修支援申込書」をもとに、電話・メール・面談等により、相談内容を改めてヒアリングし、研修プログラムの企画に係るアドバイスや情報提供等を行います。

④ 研修運営支援

必要に応じて、当センター職員（社会教育主事等）が訪問し、研修当日の講師、コーディネーター等を務めます。また、市町の職員（社会教育主事等）が当日の講師等を担当する場合、広島県立生涯学習センター開発の研修コンテンツデータ（読み原稿入りのパワーポイント資料や演習ワークシート等）を提供することもできます（課題・実態に応じてアレンジ可）。

※県が研修を主催、代行するものではないことに留意してください。

⑤ 研修終了後のアフターフォロー

「振り返りアンケート」の分析等をもとに、次回以降の改善・発展及び市町の主体的な研修実施体制の構築に向けて支援します。

8 申込方法等

(1) 申込方法

各市町担当課において「研修支援申込書」を作成の上、メールで提出してください。

(2) 申込先及び問合せ先

広島県立生涯学習センター

〒730-0052 広島市中区千田町三丁目7-47

電話：082-248-8848 メール：sgcshinkou@pref.hiroshima.lg.jp

9 その他

広島県立生涯学習センター職員の訪問に係る旅費は県が負担します。

令和7年度生涯学習振興・社会教育行政関係職員等研修【地域課題対応研修支援（訪問型研修）】

研修支援申込書

提出日：令和 年 月 日

1	研修担当者	市 町 名			
		所 属			
		職名・氏名			
2	研修名				
3	会場				
4	研修のねらい (向上させたい能力等)				
5	対象者				
6	希望日時	第1希望	令和 年 月 日 ()	:	～ :
		第2希望	令和 年 月 日 ()	:	～ :
		第3希望	令和 年 月 日 ()	:	～ :
		※日程が決定していない場合は、「〇月中旬」といった書き方でも構いません。 ※研修を複数回行う場合は、「8 研修内容」に全体計画も記入してください。			
7	参加予定人数				
8	研修内容				
9	希望する 支援の方法等 ※該当に☑ (複数選択可)	☐ 研修プログラムの企画・運営に係る事前、事後の指導・助言 ☐ 研修当日の指導・助言（講師、運営支援） ☐ 研修コンテンツの提供 ☐ その他、研修の企画・運営に係る必要な支援 →詳しく記入してください（ ）			
10	希望する 支援の内容	活用したい研修プログラムがあれば、別紙「研修支援プログラム（例）一覧」から番号を選択し、記入してください。			
11	申込の理由				
12	その他				

令和7年度生涯学習振興・社会教育行政関係職員等研修【地域課題対応研修支援（訪問型研修）】

研修支援申込書

提出日：令和 年 月 日

1	研修担当者	市 町 名	〇〇市（町）		
		所 属	教育委員会生涯学習課		
		職名・氏名	社会教育主事 〇〇 〇〇		
2	研修名	〇〇市公民館職員研修会			
3	会場	〇〇市役所会議室			
4	研修のねらい (向上させたい能力等)	個人の要望や社会の要請を踏まえた学習プログラムの企画・立案の意義や手法を理解し、実務に活かすことができるようになる。			
5	対象者	公民館職員、生涯学習課職員等			
6	希望日時	第1希望	令和 7年 7月 〇日（〇）13:30 ～ 16:30		
		第2希望	令和 7年 8月 〇日（〇）13:30 ～ 16:30		
		第3希望	令和 7年 9月 〇日（〇）13:30 ～ 16:30		
		※日程が決定していない場合は、「〇月中旬」といった書き方でも構いません。 ※研修を複数回行う場合は、「8 研修内容」に全体計画も記入してください。			
7	参加予定人数	20名			
8	研修内容	研修当日の日程 ①講義：〇〇市が目指す生涯学習・社会教育について【〇〇市職員】 ②講義：学習プログラムの企画・立案【広島県立生涯学習センター職員】 ③演習：学習プログラムの作成【〇〇市職員】 全体計画（テーマ）事業の企画立案・評価・リデザインについて 【第1回】学習プログラムの企画・立案（本研修） 【第2回】学習プログラムの評価（10月実施予定） 【第3回】学習プログラムのリデザイン（12月実施予定）			
9	希望する 支援の方法等 ※該当に☑ (複数選択可)	☒ 研修プログラムの企画・運営に係る事前、事後の指導・助言 ☒ 研修当日の指導・助言（講師、運営支援） ☐ 研修コンテンツの提供 ☐ その他、研修の企画・運営に係る必要な支援 →詳しく記入してください（ ）			
10	希望する 支援の内容	活用したい研修プログラムがあれば、別紙「研修支援プログラム（例）一覧」から番号を選択し、記入してください。			4
11	申込の理由	公民館講座の内容が例年同じものになっており、受講者も年々減少している。そこで、学習プログラムの企画・立案に関する理論をもとに、各公民館の職員で新しい講座を開発してほしいと考えているため、本研修支援を申し込みたい。			
12	その他	本研修をオンラインで実施したい。			

令和7年度生涯学習振興・社会教育行政関係職員等研修【地域課題対応研修支援(訪問型研修)】
研修支援プログラム(例)一覧

資料2-4

No.	テーマ	※主な対象				内容	
		① 職員	② 社教委員	③ 地域ボラ	④ 地域学校	項目	主な内容
1	【生涯学習・社会教育の基礎Ⅰ】 「生涯学習・社会教育」の基本事項	○				講義	「生涯学習」や「社会教育」についての用語解説や関係職員に求められる役割等の基本的な事項を学びます。
						演習	地域課題や業務上の課題等に応じたテーマで意見交流を行います。
2	【生涯学習・社会教育の基礎Ⅱ】 生涯学習・社会教育関係法令	○				講義	自分たちの仕事の根拠となる、生涯学習・社会教育関係の法令等を学びます(初任者向け)。
						演習	地域課題や業務上の課題等に応じたテーマで意見交流を行います。
3	生涯学習振興・社会教育行政 関係職員の役割について	○				講義	これからの生涯学習振興・社会教育行政関係職員等に期待されている役割や、職員が身に付ける必要がある基本的な資質・能力について、グループ演習を通じて学びます。
						演習	
4	【学習プログラム開発の基礎Ⅰ】 学習プログラムの企画・立案	○				講義	学習プログラムを企画・立案する上での課題把握や目標設定、プログラム展開等について学びます。
						演習	地域課題に応じた学習プログラムの企画・立案を行います。
5	【学習プログラム開発の基礎Ⅱ】 学習プログラムの評価・リデザイン	○				講義	学習プログラム開発における評価・改善(リデザイン)の理論や手法を学びます。
						演習	既存の事業や新規開発した学習プログラムの相互評価・改善(リデザイン)を行います。
6	参加型学習の実際と ファシリテーションの基礎	○	○	○	○	講義	参加型学習の理論やファシリテーションの基礎的な手法について、「ワールド・カフェ」等を体験しながら学びます。
						演習	
7	「親の力」をまなびあう学習 プログラム」の趣旨及び模擬体験	○	○	○	○	講義	家庭教育支援の参加型学習「親の力」をまなびあう学習プログラム(親プロ)の体験を通して、その趣旨やファシリテーターの役割等について学びます。「親プロ」ファシリテーターの研修や交流会向けにアレンジすることも可能です。
						演習	
8	社会教育委員の役割	○	○	○	○	講義	社会教育委員の役割や期待される取組等について学びます。
						演習	地域課題に応じたテーマで意見交流を行います。
9	アウトリーチ型家庭教育支援	○	○	○	○	講義	アウトリーチ型家庭教育支援について学びます。
						演習	家庭教育を支援する基盤の形成に向けて、家庭教育支援チームのスキル向上について学びます。
10	コミュニティ・スクールと 地域学校協働活動の一体的推進	○	○	○	○	講義	地域学校協働活動コーディネーターの役割と意義について学びます。
						演習	学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進における主体的な運営(協働)のスキルについて学びます。

【主な対象】

①市町生涯学習振興・社会教育行政関係職員等(※)

※生涯学習振興・社会教育行政担当課職員、社会教育主事・生涯学習センター職員、公民館・公民館類似施設(コミュニティセンター等)職員、地域づくりや啓発事業・講座等の企画運営を担当する職員等

②社会教育委員

③地域ボランティア・コーディネーター、社会教育士、親プロファシリテーター

④学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員、地域学校協働活動コーディネーター

○ 研修プログラムは一例です。相談内容や地域課題等に応じてアレンジが可能です。所要時間については適宜対応します。また、このリストにない研修を希望する場合は、当センターへ相談してください。

○ 研修コンテンツの一部や過去の研修の様子を当センターのHPに掲載していますので参考にしてください。

広島県立生涯学習センター「ぱれっと ひろしま」HP ▶

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/center/houmongatakensyu.html>

- 市町の社会教育主事等が講師を担当される場合は、当センター開発の研修コンテンツ(読み原稿入りのパワーポイント資料等)を提供します。
- 「公民館活性化モデル事業」に係る支援、研修に関わる「講師情報」の提供・相談も、随時、行っています。

広島版



「学びから始まる 地域づくりプロジェクト」 支援事業



各市町や公民館等の要望・状況等に応じた伴走型支援！

地域づくりのための **7月下旬**
学習プロジェクト立案研修

モデル市町伴走型支援
通年(0～3年目)

【趣旨説明(予定)】 本支援事業の概要

【講義(予定)】

学びと地域づくり・ひとづくりの
好循環を創る生涯学習・社会教育

【事例発表(予定)】

学習プロジェクトの実際

【演習・ワークショップ(予定)】

学習プロジェクトのデザイン

【学習プロジェクトの立案・実施】

○分析シートによる整理

・地域の現状や課題、資源等

○企画シートによるプロジェクト検討

・取組の目的や概要、指標・体制等

○プロジェクトの実施に向けた準備

・講師招聘(県費負担)による研修会

○プロジェクトの実施と評価・改善

問合せ：広島県立生涯学習センター振興課

電話：082-248-8848

E-mail : sgcslinkou@pref.hiroshima.lg.jp



令和 7 年度

広島版「学びから始まる地域づくりプロジェクト」支援事業 実施要項

1 趣 旨

- (1) 地域住民にとって最も身近な学習・交流の活動拠点である社会教育関係施設機関等（公民館及び公民館類似施設（コミュニティセンター）等の社会教育関係施設）が行政（首長部局）や大学・企業・NPO、地域の関係機関・団体等と連携・協働して地域課題に対応した学習機会を提供し、学びを通じた地域づくりの活動を促進するための拠点として重要な役割を果たせるよう支援する。
- (2) 地域住民の主体的・協働的な学びを通じた地域づくりの活動を促進する事業モデルを開発し、それぞれの公民館等での活動をコーディネートできる人材（社会教育関係施設機関等職員等）の育成を図る。
- (3) 上記事業の構築に当たっては、県及び市町の社会教育主事等がその役割を発揮し、専門性（有用性）を活かす仕組みを取り入れる。

2 主 催

広島県教育委員会（主管：広島県立生涯学習センター）

3 取組内容

- (1) 広島県教育委員会（広島県立生涯学習センター）の取組

ア モデル市町の選定

事業の成果検証が図れるよう、社会や地域の課題解決に係る講座・事業の取組状況、実施体制や想定される地域課題、専門的な職員の配置状況などを総合的に勘案し、市町の課題やニーズを調整の上、モデル市町として4市町程度を選定する。（0年次支援市町も含む。）

イ 社会教育関係施設機関等職員等研修の実施

「広島版「学びから始まる地域づくりプロジェクト」」（略称「ひろプロ」、以下「ひろプロ」という。）支援事業を推進するため、地域づくりのための学習プロジェクト立案研修を実施し、「ひろプロ」の企画・調整・運営を務める公民館等職員の当該事業実施を見据えたプロジェクトの企画力やコーディネート力の向上を図る。

ウ 取組の支援

社会教育主事等の専門的な職員が市町を訪問し、モデル市町の職員（社会教育主事や社会教育関係施設機関等職員等）への助言や取組の支援（知事部局等との連携を含む。）を行う。

エ 「ひろプロ」の普及・促進（調査研究）

モデル市町やその他の地域における取組状況等について調査研究し、その成果をまとめて共有する。また、汎用性のある事業モデルをモデル市町と協働開発し、「「ひろプロ」コーディネーターハンドブック」を作成して研修ツールとしての活用を図る。さらに、取組の成果をホームページや県の広報紙へ掲載するなどして、県民及び県内市町に周知し、新たな参加者層の巻き込み及び取組の普及・啓発等を図る。

オ 広島県公民館連合会との連携

本事業の実施に当たっては、広島県公民館連合会と連携して進める。

- (2) モデル市町の取組

ア 事業実施組織（検討チーム）の設置・運営

構成は、公民館等職員（地域づくりのための学習プロジェクト立案研修修了者等）、市町職員（社会教育主事及び地域課題に関する担当課職員等）、広島県立生涯学習センター職員（社会教

育主事等)、地域住民等とし、次の事項を取り扱う。企画・運営は、公民館等職員と市町職員(社会教育主事等)がコーディネートする。

(7) 地域住民と行政の協働による解決が可能で、かつ、地域住民の主体的な参画が期待される地域課題を選定し、課題解決のための具体的方策の実施体制を検討する。

(イ) 地域課題に関わる広島県の担当課職員及び広島県教育委員会の担当課職員等を招聘し、研修会を企画・実施する。

(ウ) 地域課題の解決に必要な学びを提供するための講師(アドバイザー)を選定し、招聘する。

(エ) 講師(アドバイザー)による助言や参加者による熟議等とおして、地域住民と行政の協働による課題解決のための事業開発の具体的方策を検討する。

イ 実践

事業実施組織において検討された具体的方策を地域住民と行政が協働して実践する。

※上記における会議・研修会等の実施回数は、実施主体において設定する。また、実行委員会等による実施も可とする。

4 事業実施に係る経費負担

(1) 広島県教育委員会(広島県立生涯学習センター)

- ・地域づくりのための学習プロジェクト立案研修(県主催)に係る経費
- ・広島県立生涯学習センター職員訪問に係る旅費(年間5回)
- ・講師(アドバイザー)招聘に係る報償費、旅費(原則として事業開始年度及び次年度とし、その他については、市町担当課と協議の上決定する)

(2) モデル市町

- ・「ひろプロ」実践の取組に係る経費(他事業の助成金活用等を含む。)

5 モデル市町の決定及び事業計画・報告

(1) 事業計画

事業を実施するモデル市町は、事業実施初年度前に、3か年分「事業計画書(様式第1号)」を広島県立生涯学習センター所長に提出する。

(2) モデル市町の決定

広島県立生涯学習センター所長は、市町の課題やニーズ等を調整の上、モデル市町について決定し、当該市町教育委員会に通知する。

(3) 事業報告

事業を実施したモデル市町は、各年度の事業終了後、年度内に「事業報告書(様式第2号)」を広島県立生涯学習センター所長に提出する。

6 事業の評価・検証

当該年度の事業の成果や課題等に関する評価・検証を図り、次年度に向けて事業内容を精査する。

7 その他

この要項に定めるもののほか、事業の実施に必要な事項については、別に定める。